

ならしの

題字：創立者額田晋先生 書

平成10年度号 NO.18
平成10. 8. 17発行
千葉県習志野市泉町
2-1-37
東邦大学付属東邦
中学校・高等学校
同窓会
TEL 0474-72-8191
FAX 0474-75-1335

自然生命人間の

東邦教育

伊藤恒之現校長 寄

新会長に推挙され、粉骨碎身の決意を！

同窓会会長 鮎川 二郎（七期生 現千葉商科大学教授）

既に「同窓会の皆様へ」の書信（平成九年八月二十六日付け）でご案内の通り、平成九年六月七日、同窓会の正常化に向けて多くの愛校心に満ちあふれた会員が中心となり、それに伊藤恒之校長をはじめとする母校の先生方のご協力や、PTA習志会の古岡英征会長および会員皆様のご支援を頂いて、平成元年を最後に一度も開かれたことのなかつた同窓会総会が開催されました。総会は三千五百五十六名（委任状によるものを含む）の会員出席のもと、私が新会長に選任されました。さらに平成九年九月十五日に定例総会も開かれ、同窓会活動を一步、二歩と歩み始めることができました。これら総会の一部始終はVTRにも記録され保管してあります。私は平成元年以後における準会員（在校生）や学校当局に対する同窓会としてあるべき支援、協力活動が正常でないことを知れば知るほどその状況があまりにも常軌

をいたしております。また、新執行部が誕生した後にも同窓会の実状を心配して下さり、日増しに多くの同窓会員から正常化への力強いサポートがあり、役員一同心より感謝している次第です。

を逸しており、このままでは同窓生の一人として恥ずかしい、申し訳ない、何とかしなければ、と痛感してはいましたが、新会長に推挙された時は、現奉職先や社会活動等で多忙でもあり、会長をお引き受けするところを大変躊躇いたしました。ところが母校に關係する周囲の方々や総会出席者の同窓会を正常化せよとの熱意と声高い激励に心を打たれ、そのうえ見識高い新役員にも恵まれたことから、粉骨碎身の思いでお引き受けすることを決意した次第です。その後の活動と致しましては、毎月一度の定例役員会を開催し、同窓会のあるべき姿を議論し合いながら、停止したままだった平成八年度の卒業記念品と九年度の卒業記念品（共に印鑑）の贈呈を復活させたり、入学式、卒業式、文化祭等の学校行事に積極的に参加するなど、習志会、学校当局とも密接な關係を保ちながら

正常な活動に近づけるため鋭意努力をいたしております。また、新執行部が誕生した後にも同窓会の実状を心配して下さり、日増しに多くの同窓会員から正常化への力強いサポートがあり、役員一同心より感謝している次第です。

を逸しており、このままでは同窓生の一人として恥ずかしい、申し訳ない、何とかしなければ、と痛感してはいましたが、新会長に推挙された時は、現奉職先や社会活動等で多忙でもあり、会長をお引き受けするところを大変躊躇いたしました。ところが母校に關係する周囲の方々や総会出席者の同窓会を正常化せよとの熱意と声高い激励に心を打たれ、そのうえ見識高い新役員にも恵まれたことから、粉骨碎身の思いでお引き受けすることを決意した次第です。その後の活動と致しましては、毎月一度の定例役員会を開催し、同窓会のあるべき姿を議論し合いながら、停止したままだった平成八年度の卒業記念品と九年度の卒業記念品（共に印鑑）の贈呈を復活させたり、入学式、卒業式、文化祭等の学校行事に積極的に参加するなど、習志会、学校当局とも密接な關係を保ちながら

正常な活動に近づけるため鋭意努力をいたしております。また、新執行部が誕生した後にも同窓会の実状を心配して下さり、日増しに多くの同窓会員から正常化への力強いサポートがあり、役員一同心より感謝している次第です。

「同窓会役員」

- 会長 鮎川 二郎 七期生 大学教授
- 副会長 齋木 光雄 九期生 会社役員
- 副会長 小澤 重博 十六期生 会社役員
- 理事 榎本 久美子 九期生 主婦
- 理事 榎内 圭一 十八期生 歯科医
- 理事 秋元 保次 十六期生 会社役員
- 理事 牧 栄 二十期生 鍼灸師
- 理事 猪野 邦雄 十七期生 公務員
- 理事 鈴木 実 十八期生 公務員
- 理事 渡辺 和彦 二十期生 歯科医
- 理事 下遠野 実 九期生 母校教諭
- 理事 小高 昌次 十三期生 母校教諭
- 理事 岡田 久仁子 十五期生 母校教諭
- 理事 白取 哲 二十三期生 会社員

「事務局」

- 御喜 和 十八期生 母校教諭
- 池田 浩司 二十九期生 母校教諭
- 宮島 知里 三十四期生 母校教諭
- 岡田 隆治 三十六期生 母校教諭
- 久富 夕起子 三十六期生 母校教諭
- 山口 武史 三十七期生 母校教諭
- 川崎 亜紀子 三十六期生 母校講師

同窓会定例総会

だによせて

学校法人東邦大学理事長

野口 鉄也

東邦中・高関係の定期刊行物の巻頭には、必ず額田 晋先生の「教育信条」

「われわれは、全宇宙を支配する無形の偉大な力に黙祷をささげて人間の心の向上を誓おう」と記されている。

1952年にみすばらしい馬小屋校舎に、賑々の声をあげた本校、この校舎は73年まで20年続いた。55年総員39名で卒業した第一回はすでに遺暦を過ぎていた。以後、本校の全人的科学教育は確実に結実し、卒業生は各界の指導者として活躍されている。現在は校門を入ると、普ての草むらは校庭となり、左手に校舎、右手に近代体育館が偉容を誇る。訪れた人は誰でも、ゆつたりとしたたずまいに歴代校長によつて培われた教育の信念に触れ、創立者のレリフの下では建学の理念の完全なる継承を実感することが出来る。

学園は「心のふるさと」である。本校同窓会は定例総会に向けて、この会報を発行することになったと聞き及んでいられる。ご同慶の限りである。本法人を預かる一人として、今後も多くの若者が、学風を慕つて、この学び舎に集い、晋い学志を抱くよう、私どもは努力を惜しまないことをお約束したい。

東邦大学付属東邦中高等学校校長

伊藤 恒之

昨年の総会開催に引き続いて、今年も同窓会報も発行される運びとなりました。役員の皆様のご努力に心から敬意を表する次第であります。

創立者、額田登・晋兄弟博士の説かれた「自然・生命・人間の尊重」の教育理念の

もとに、この三月の第四十四期生をもつて総勢一万五千名を超える卒業生を世に送り出しました。

現在の生徒数は、中学が十八学級八〇八名、高校が二六学級一一二名(準会員)合わせて一九二〇名を擁しております。卒業生の進路は全員が進学して本年度の大学別合格者数(含過年度卒)は国公立大計一九、私大計七六〇と健闘しております(別表参照)。

部活動も盛んで、中学では男子ハンドボール部が全国大会で第三位、オーケストラ部は県下最高演奏を誇り、高校では吹奏楽部は毎年金賞、女子ハンド・ボールも県下で優勝を争うレベルであります。

恒例の九月十五日に開かれる総会は、母校の発展の姿をご覧頂くにはよい機会かと存じますので、皆様のご出席を願っております。

習志会会長

木暮 忠之

平成十年五月十六日の習志会総会におきまして、会員の皆様のご推挙により吉岡会長の後を受けて、習志会会長に就任致しました。現在の習志会組織を作られた歴代会長が苦勞して築かれた習志会の伝統を汚すことなく、誠心誠意会務に取り組み決意です。東邦中・高等学校の発展のため、そして子供達が第一志望の進路を実現するためには同窓会、習志会ともに一致団結した努力が必要で、本館外壁工事については、夏休みを利用して現在補強工事が行われています。

食堂については、建て直しを含めて習志会に食堂改善委員会を発足させました。白羽寮については、施設面の遅れがありますので、まず寮内学習室八か所について冷房の設置を援助したいと考えています。(各教室には平成八年の秋に設置済)また、平成十年十一月には、東邦高等学校出身者のご参加をお願いし、「東邦卒業生の来し方」という

テーマで職業別パネルディスカッションを開催する予定です。今後とも同窓会のご理解と暖かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

前東邦中学校教頭

押田 和夫

東邦中学校でその第一回卒業生を高校に送り出した四月に、私は生物教師として着任しました。そしていつのまにか三四年の月日が流れ、本年三月定年退職しましたが、非常勤として現在東邦中高校生と関わりを持っています。さて、同窓会については私自身、特別会員ということでもあり会の発展を心から願っている者です。同窓会というものには、同じ舎で何年間か過ごした仲間が卒業後、昔日を振り返り、また近況を語り合ったりする会と思えますが、これはまた母校への支援組織という側面をも持ち合わせるようになるのも自然の成り行きといえるかもしれません。ここ何年間、同窓会も色々なことがありましたが、卒業生の皆様の英知と愛校心により再出発できたことは喜ばしいことと思えます。同窓会はず原点に戻って懐かしい思いを持つ者の一つの場として皆様が集まり、その中で相互の関係をしっかりと築かれて爽やかな活動がされる会になることを期待するものであります。

学校の近況

一、施設・設備の充実
特別教室棟、第二体育館完成 (平成7年3月)

高校レベルでは最高の設備を備えた図書館、L1教室、コンピュータ室、多目的ホール、屋内温水プール……草創期の先鋒方にぜひご覧頂きたい施設です。
全館空調設備の完備 (平成8年9月)
夏休みの補習、講習が快適に実施できるようになりました。

二、先生方の異動
・中学校教頭押田和夫先生が、平成十年三月に定年退職されました。押田先生の退職に伴い、高校教頭牧野忠義先生が中学校教頭に異動、泉東作先生が高校教頭に昇任されました。
・三十年以上の長きにわたり、東邦の発展に尽力された三名の先生がご退職になりました。

板橋英子先生 (平成9年3月ご退職)
敵しけれど、本当に心の温かい先生でした。現在は、故郷の新潟でご主人と水入らずの日々を送っております。
三任泰之先生 (平成9年3月ご退職)
現在は沖繩大学の一年生。先日、大学のサークル仲間と、緒にヤンバル奥地で遭難しかけ、地方紙を賑わせたそうです。

押田和夫先生 (平成10年3月ご退職)
この春、定年退職されましたが、引き続き非常勤講師として週三日、東邦で教鞭をとっております。先生方を代表して今回の会報の原稿を書いて頂きました。

三、部活動の活躍 (平成7年)
平成10年度に入ってから部活動に付きましては校長先生の原稿に關係の報告がありますので、ご覧ください。
・高校ラグビー部 ベスト16進出 (平成9年度千葉県新人大会)
昭和三十年代には関東大会を二度果たした県内の古豪も、ここ二十年近くは部員不足で悩むことがしばしばあり、今回のベスト16進出も十二年ぶりのことです。

【試合結果】
ブロック予選 (2勝1敗で第2位)
東邦 53-10 鎌ヶ谷
東邦 18-10 秀明八千代
東邦 0-44 八千代松陰
県大会
1回戦 東邦 20-10 国府台
2回戦 東邦 3-79 流経大柏

		A	B	C	D	E	F	G	H	I	計
中学1年	男子	24	24	24	24	24	24				271
	女子	22	21	21	21	21	21				
中学2年	男子	20	20	20	20	20	20				270
	女子	25	25	25	25	25	25				
中学3年	男子	25	25	25	25	25	25				267
	女子	19	20	20	20	19	19				
高校1年	男子	25	24	25	24	26	25	24	25		362
	女子	21	21	20	21	20	20	21	20		
高校2年	男子	20	23	27	23	28	22	29	22	22	398
	女子	22	19	19	19	19	19	27	23	25	
高校3年	男子	29	23	22	24	24	24	22	21	22	352
	女子	13	14	15	18	15	15	17	17	17	

四、在籍生徒数（平成10年7月19日現在）

河村英明先生千葉県体育協会功労賞受賞
河村英明先生（現中学校生徒指導部長）がハンドボール指導者としての長年の功勞により、平成9年度千葉県体育協会功勞賞を受賞されました。
先生は昭和45年のご着任とともにハンドボール部を創部、「ハンドの東邦」の名を全国に轟かせてきました。
先生は生徒指導部長としてご多忙の中、現在もコートで部員と一緒に汗を流しておられます。

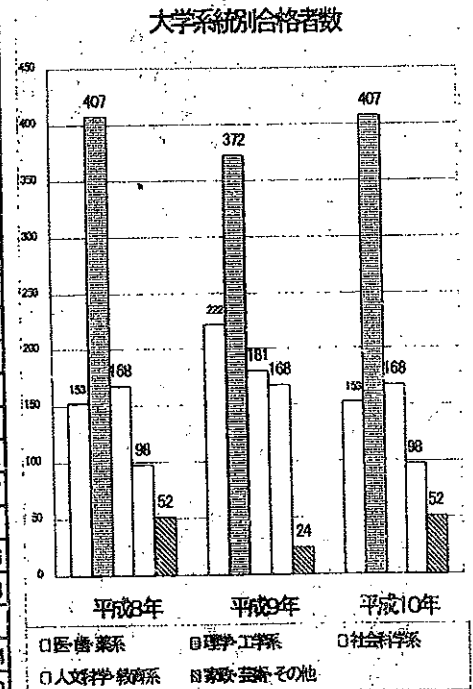
過去3年間の大学合格状況

国立大学	H8	H9	H10
東京	4	10	8
京都	2	3	
東京工業	9	8	7
一橋		3	3
京北	7	6	3
お茶の水	4	3	3
北海道	2	6	2
弘前	1	3	1
秋田			1
金沢	1	1	2
新潟	1		1
信州	2	2	3
山形	3	2	1
茨城	1	3	2
筑波	10	5	5
埼玉	2	1	1
千葉	33	22	27
東京医科歯科	1	4	4
東京外国語	3	7	1
東京学芸	1	2	3
東京農工	4	2	3
電気通信	3		2
東京都立	4	2	1
横浜国立	3	6	4
横浜市立	5		1
山梨医科	1	1	3
浜松医科		1	1
広島	1		1
香川医科		1	1
徳島		4	1
その他	19	28	23
計	127	136	119

私立大学	H8	H9	H10
早稲田	62	64	48
慶応義塾	34	38	30
上智	22	39	35
明治	17	22	30
中央	22	22	24
立教	19	37	15
東京理科	128	86	69
青山学院	20	14	18
明治学院	3	5	10
国際基督教	6	9	3
日本	55	49	52
法政	15	18	25
専修	6	5	8
学習院	18	25	17
東海	8	6	9
成蹊	10	11	8
北里	18	25	22
昭和	5	14	11
津田塾	3	9	6
東京女子	7	22	14
日本女子	8	19	15
芝浦工業	8	9	10
東京電機	11	6	4
東京農業	3	8	6
東京薬科	7	11	6
星薬科	9	11	12
共立薬科	7	8	12
明治薬科	8	8	7
東京慈恵会医科	1	4	1
東京医科	2	7	6
日本医科	3	2	3
自治医科	1	1	
その他	205	217	224
計	751	831	760

五、主な年開行事
（平成10年9月～平成11年9月）
9月26日（土、27日（日）） 中学校・高校文化祭（銀杏祭）
※同窓生の皆様、ぜひご来校ください。
1月21日（木） 中学校入学力検査
2月5日（金） 高校入学学力検査
3月2日（火） 同窓会入会式
3月2日（水） 高校卒業式
21日（日） 中学校卒業式
4月9日（水） 中学・高校入学式

《【学校案内】より引用》



新入会員を迎えて

平成九年度東邦高校卒業式前日、同窓会の入会式が挙行されました。
式では卒業生計三九九名が新たな同窓会員として入会し、同窓会長鮎川二郎氏によるお祝いの言葉が述べられました。

「卒業される皆様は、ご両親から授けられた優れた資質に一段と磨きをかけて未来への歩むべき道と目標をしっかりと見出だされていることと思います。私たち同窓会は、母校卒業生の輝かしい門出を祝し、併せて卒業後の各人が今後の新たな社会環境の中で、様々な変化や幾多の課題にも適切に対応し、かつ積極的に解決する能力を遺憾なく発揮され、活躍されることを期待しております。」

また卒業記念品として『カード式印鑑』を卒業生全員に進呈いたしました。日本の社会的慣習の一つであり、個人である証や意志を表現する『印鑑』を同窓会では大切な存在であると考え、例年どおりの進呈となりました。

夢のつぎ

早稲田大学社会科学部一年

倉橋 友和

今年の四月、私は運良く大学に進学することが出来た。それも、小学生の頃からずっと憧れていた大学である。と、言うよりも、自分が本当に憧れていたのは、学校そのものより、同校卒業のアナウンサーであつた逸見政孝さんであつたのかもしれない。その証拠に、現在、自分が所属しているサークルは、三十五年前、逸見さんも所属していたアナウンサー研究会なのである。

ここでは、神宮球場での六大学野球の実況などを中心に、主にスポーツ実況の練習をしている。それは、あなかも小さい頃から、今でもずっと懲りずに目標としていたアナウンサーになれたかのような気分になれる瞬間である。しかし、それは一つの幻想にすぎない。まだ、『逸見さん』までの道は果てしなく遠いものである。多くの人間が『集まり散じ』るキャンパスの中で、『逸見政孝』という大きな存在が、人間的にさらに強くしてくるであろう。卒業生が夢と希望を持って新しい生活にのぞんでいるように、同窓会でも更なる飛躍を目指して活動を続けていく所存です。今後、母校の発展の為に同窓会活動への協力をお願いいたします。(宮島)

同窓会役員員の抱負

・東邦高校も、創立以来半世紀を迎えようとしています。卒業生も一万人を越え、日本各地、それどころか世界各国で活躍されているのを見聞き致しておりますが私も若い卒業生に負けないよう、大宇宙の、この小さな地球という星の中で、命あるかぎり頑張る(遊ぶ)つもりです。(齋木)

・久しく途絶えていた会報発行に際し、これで行つと普通の同窓会になれたような気がします。これを機会に皆様の状況や情報発信の場として活用できたらと期待しております。

・九期の同期会監事を数回させていただいたこととなりました。主婦一筋三十年、右も左もわからぬ私ですが、皆様と一緒に親しみのある同窓会を目指していきたいと思っております。(榎本)

・在学中の罪滅ぼしがしたいです。「藤内」
・昨年の臨時総会に出席したことがきつかけで、理事を務めることになりました。同窓会組織の充実と発展のために皆さんと一緒に頑張りたいと思います。「秋元」
・二十期卒の牧榮です。頑張ります。「牧」
・私の勤務する千葉市役所に同窓生の集まりをつくつてはどうか、との話があり、母校の御喜先生に相談しましたところ、高校との付き合いが復活し、理事に就任することになりました。お陰さまで、千葉市役所同窓会は、関係者のご尽力により、平成九年度十一月十九日に発足しました。「猪野」
・今年度の人事異動で、九月一日開院予定の市川市リハビリテーション病院事務局に配属されました。開院に向かつて毎日日本当に忙しいです。親しみのある同窓会を皆で育てていきましょう。「鈴木」
・東邦高、中学校、学生、父兄、教職員を守るために、正常な一本化した会になるまでがんばる所存であります。「渡辺」

同窓会役員員の活動

同窓会事務局に報告があつたものを記載いたします。

◎千葉市役所東邦高校同窓会の発足
(平成九年十一月十九日)

代表：猪野邦雄氏

◎二十期会

代表：牧榮氏

◎四葉会(剣道部OB会)の発足

代表：小澤重博氏

◎四期・五期生ラグビー部OB会

代表：宇仁豊氏

◎十八期同窓会開催
(平成十年七月十一日)

幹事：多田治氏・安田善吉氏

※今後、各期、各部活などの活動を同窓会事務局にご連絡下さい。

同窓会総会開催案内

日時：平成十年九月十五日(敬老の日)
午後二時より午後三時まで
場所：特別教室棟・多目的ホール
(東邦高校内)

議案：平成九年度事業報告
平成九年度会計報告
平成十年度事業計画案
平成十年度予算案
その他

※なお総会終了後、午後三時より午後五時まで母校食堂において、会費三千円で懇親会を行います。

編集後記

昨年同窓会の仕事を手伝うようになり、会長ならびに、他の理事の方々の母校への熱き思いを理事会の度に感じながら、一年が過ぎ二度目の総会が近づいてきました。同窓会にもこれまでいろいろなことがあり、随分長い時間がたつたように感じます。今回、何とか久しぶりに会報を発行することができました。ようやく同窓会員の皆様へ会報の形でご報告できると、心より嬉しく思います。緊縮予算のため写真を入れることができません。文字ばかりの見づらくなるようになりましたが、編集委員の努力のじんだ会報となっております。ぜひご一読下さい。

なお、住所不明のため総会のご案内を送付できない方がいます。周りにそういう方がいたら、同窓会事務局までご一報下さい。総会当日受付でもお受けします。(藤内)

◎会報の一部に印刷の不鮮明な箇所がありましたことをご詫言致します。

過去3年間の大学合格状況

国立大学	H8	H9	H10	私立大学	H8	H9	H10
東京	4	10	8	早稲田	62	64	48
京都	2	3		慶応義塾	34	38	30
東京工業	9	8	7	上智	22	39	35
一橋		3	3	明治	17	22	30
東北	7	6	3	中央	22	22	24
お茶の水	4	3	3	立教	19	37	15
北海道	2	6	2	東京理科	120	86	69
弘前	1	3	1	青山学院	20	14	18
秋田			1	明治学院	3	5	10
金沢	1	1	2	国際基督教	6	9	3
新潟	1		1	日本	55	49	52
信州	2	2	3	法政	15	18	25
山形	3	2	1	専修	6	5	8
茨城	1	3	2	学習院	18	25	17
筑波	10	6	5	東海	8	6	9
埼玉	2	1	1	成蹊	10	11	8
千葉	33	22	27	北里	18	25	22
東京医科歯科	1	4	4	昭和	5	14	11
東京外国語	3	7	1	澤田塾	3	9	6
東京学芸	1	2	3	東京女子	7	22	14
東京農工	4	2	3	日本女子	8	19	15
電気通信	3		2	芝浦工業	8	9	10
東京都立	4	2	1	東京電機	11	6	4
横浜国立	3	6	4	東京農業	3	8	6
横浜市立	5		1	東京薬科	7	11	6
山梨医科	1	1	3	星薬科	9	11	12
浜松医科		1	1	共立薬科	7	8	12
広島	1		1	明治薬科	8	8	7
香川医科		1	1	東京慈恵会医科	1	4	1
徳島		4	1	東京医科	2	7	6
その他	19	28	23	日本医科	3	2	3
計	127	136	119	自治医科	1	1	
				その他	205	217	224
				計	751	831	760